

平成29年度「園評価」の実施内容を下記のとおり報告します

1. 実施概要

対象者	人数	回答数	回答率	実施期間
職員	16名	16名	100%	平成29年6月～30年2月
保護者	園児数150名 (世帯数127)	81世帯	63%	平成29年12月19日～ 30年2月21日

2. 保育教諭自己評価

I 経営の重点に関わること

評価段階(A:大変よい B:まあまあよい C:あまりよくない D:全然よくない)

1 園教育・保育目標： 生きる力の基礎を身につけ 心身共に健やかで心豊かな子どもを育む		
大項目	評価指標	自己評価
2 重点目標	【評価指標】自分のやりたい事を見つけ、進んで取り組もうとする。	B
①いろいろなことにチャレンジ	【園説明】 ・子どもたちのやってみたいと思う気持ちを大切に、挑戦する姿を見守ったり、自発的にあそびを楽しめるように環境を整えていく。また、できた喜びや達成感が味わえるようにし、自信に繋げていく。	
	【改善策】 ・個々に寄り添い、一人ひとりの特性や好きなあそびを見極め、あそびに誘ったり声を掛けていく。 ・子どもたちが自らあそびを楽しんだり、挑戦することができるような働きかけをする。 ・玩具や素材などもっと多くの種類を準備し、あそびの幅を広げていく。	
②やさしい心	【評価指標】自分の思いを、行動や言葉で伝える。	B
	【園説明】 ・子どもの気持ちに寄り添いながら、子どもの良さを認め、自信を持たせる。 ・個々の気持ちを汲み取り、安心して自分の思いを表現できるようにする。 【改善策】 ・子どもの気持ちを保育者が代弁しながら言葉で伝えられるようにしていく ・個々への声掛けを心掛け、一緒に考えるようにする。 ・発語が遅い為、絵本や絵カードを使って促していく。	
③元気なからだ	【評価指標】友達と一緒に体を動かして遊ぶ事を楽しんでいる。	B
	【園説明】 ・自分で工夫して遊び、それが発展して友達と協力して遊べる環境を準備する。 ・発達に合った運動遊びや触れ合い遊びを一緒に楽しんだり、探索活動が十分に楽しめるように環境を整える。 【改善策】 ・友達と一緒に遊具、平均台、跳び箱等に挑戦する。 ・出来た時は皆で喜び、出来ない子には皆で応援し、保育者が手助けをして達成感を味わせる。 ・あそびが発展できるような環境作りの園内研修をしたことでより意識して環境を整えることができて良かった。	

II 施設の機能に関わること

大項目	中項目	評価指標	自己評価
1 安全管理・指導	(1)事故防止 防災	【評価指標】避難訓練や防災訓練を通して、非常時における意識や安全な行動を見につけるようにしている。	B
		【園説明】 ・訓練を繰り返すことで防災への意識が高まる言葉掛けをしたり、安全な避難方法等を伝えている。また、日頃からハンカチを持つこと、上靴をしっかりと履くことの大切さを知らせたり、防災頭巾の使い方を確認したりしている。	
		【改善策】 ・訓練後、職員間で反省点や気付いたことを話し合い、非常時に備えたり、改善する努力している。 ・様々な状況を想定して訓練に取り組んでいく。安全に避難できるように職員同士の連携を密にしていく。 ・訓練という意識ではなく、もっと危機感を持って行動していく。	
2 保健管理・指導	(1)健康教育の充実	【評価指標】基本的な生活習慣や挨拶を身につけ、心身共に健康な生活をしている。	B
		【園説明】・保育者が率先して挨拶をする。 ・一人ひとりの健康状態を把握し、清潔で衛生的な環境を整えることで、心身共に健康な生活をおくれるようにする。	
		【改善策】・子ども達一人ひとりに笑顔で元気よく挨拶をする。 ・子どもの心や体調の変化に気が付けるよう、家庭や保育者間での連携を図る。教室は換気、消毒等を行い、常に清潔に保つようにする。	
3 組織運営	(1)組織体制の充実	【評価指標】全職員が役割を自覚し、責任を持って取り組んでいる。	B
		【園評価】 ・自分の役割を自覚し、責任を持って取り組む。 ・職員間で連携を取りながら協力していく。	
		【改善策】 ・自分の役割のものは責任を持って最後まで取り組んでいく。 ・職員間での話し合いや報・連・相を通し、目的に向かって協力して仕事に取り組んでいく。	
4 研 修	(1)研修体制の充実	【評価指標】園内研修で学び合いながら保育の質や専門性の向上に努めている。	B
		【園説明】 ・園内研修で意見を出し合い、話し合うことで共に保育者間で切磋琢磨して情報を共有していく。 ・専門誌や園外研修での新しい情報を意識し、取り入れていく。	
		【改善策】 ・具体的に内容を理解し、実践できる研修があるといい。 ・他職員研修報告を見て、情報を得ることは出来るが、手遊びや実際に行えるような内容については研修会等を開いて他職員にも教えてもらえるよう場が欲しいと思った。	

5 教育・保育環境整備	(1)教育・保育環境の充実	【評価指標】季節の遊びや発達に応じた遊びが出来る環境が用意されている。	B
		【園説明】 ・各クラスの年齢に合った絵本に分け変えた上で季節ごと並べる。 ・発達に応じた玩具や制作や活動を用意し、継続できるように充実させる。	
		【改善策】 ・身近な自然物を感じる為、花壇に季節の花や五感を育てるハーブ等を植える。 ・保育者が子どもに正しい知識を伝えられるように覚える。 ・一律の活動ではなく、発達に合わせて分けたり、階段を変える等の配慮をする。	
6 家庭との連携・協力	(1)家庭教育への支援機能の充実	【評価指標】お便りや掲示などで園から情報を発信し、子どもの成長の喜びを共有できる。	B
		【園説明】 ・連絡ノート、クラスだよりや玄関等にあそびや活動の様子・子どもの成長の様子をわかりやすく書き、伝えていく。 ・日頃から保護者とのコミュニケーションを多くとり、信頼関係を築いていく。 ・子供に成長と一緒に喜び、子育ての楽しさを共有できる環境をつくっていく。	
		【改善策】 ・保護者に読んでもらえるようなお便りをつくるよう検討する。 ・他のクラスの事も全職員が知るようにしていく ・園側の思いが強くないように保護者とのコミュニケーションをとり、園の様子や家庭での様子を伝えあうようにする	
7 地域との連携	(1)信頼される園づくりの推進	【評価指標】地域のさまざまな人やものとの交流を通し、園だけではできない体験ができる機会を持っている。	B
		【園説明】 ・散歩で出会う人に挨拶をしたり、公園であった子と交流を持つ ・なでしこ保育園、白寿荘、未就園児との交流を通し、様々な人たちと関わりを持てるようにする。	
		【改善策】 ・散歩に行く機会を増やし、自然と挨拶をしたり、外出先でのマナーを学んだりできるようにする ・地域や白寿荘との交流や園庭開放などに積極的に参加し、交流を図る。	

Ⅲ 経営のまとめ

園の運営方針のまとめ	保護者アンケートの意見から
<p>1. 運営方針のまとめ(成果と課題)</p> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在園時間の長い子どもの生活を捉え、全職員で情報を共有し、安心して過ごすことが出来た ・地域の方々との交流を重ねることは、園だけではできない貴重な体験ができた ・職員間の情報交換を密に共通理解を深めると共に、定期的に研修を設け学びを深めた <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達と実態に合わせ、子どもが自分で選び遊ぶことが出来る環境や保育内容の組み立てを考えていく ・園目標に沿って成長しているが周りの人に依存的な様子も見られ、促されながら身のまわりの事や挨拶をする姿がある ・保育教諭や保護者を心のよりどころとしながらも、園としては子ども達の自立に向けての取り組みをしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つひとつ理解が出来るまで、先生は子どもと向き合ってくれて有り難い ・担任以外の先生も名前を覚えて声をかけてくれるので嬉しく思う ・子どもが毎日楽しそうに教室に入っていくので嬉しく思う ・些細な悩みや相談も気楽に先生に相談できるので、子育てのパートナーとしても園を頼りにしている ・季節ごとの歌や食べ物に触れていることが良い
<p>2. 保護者アンケートの意見を受けて(改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が子どもの遊びから、こども園の保育・教育を理解してもらえよう、子どもたちの遊びの環境や保育教諭の関わり方を課題から見据え、来年度は保護者に向けて、保育を可視化していく必要がある ・職員の対応については、再度会議で周知を徹底した。保護者の安心して頂けるような、丁寧な、温かな対応を職員全員で徹底していく ・子どもたちの発達を踏まえた、行事への取り組み、保育活動の在り方について、日々検討をしながら行うようにする ・駐車場については、設置場所等の検討をして照明設置を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・園での様子があまりわからないので、子どもたちがどのように過ごしているのかがわかると安心する ・職員の姿勢には子どもに対しての愛情を感じられず、業務的だと思う。朝は出迎える姿勢がほしい ・行事が他の園と比べて少ない。 ・冬場の迎えの時は駐車場が暗く、無灯火の自転車、子どもの飛び出しなど危険な思いをしたので対応をお願いしたい